

株式会社 石山製作所

貼る・剥がす技術で
自動化・省力化を提案海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

本社工場では大型の自動ラインの製造に対応

主な事業内容

各種自動化・省力化装置、電子部品・
液晶製造装置などの開発・製造・販売

主な取引先(納入先)

液晶パネルメーカー、半導体関連メーカー、
自動車関連製品メーカーなど

主な製品

各種光学系フィルム貼付装置、クッション
テープ貼付ロボット、吸着シートなど業務内容
液晶への
フィルム貼付で成長

石山製作所は、貼る・剥がすの要素技術を中核に各種生産設備の開発・製造を手がける。液晶パネル生産が全盛期を迎えた1990年代後半から液晶へのフィルム貼付装置の開発・製造で、これらのコア技術を磨き上げ、液晶パネル製造の厳しい品質と生産に 대응することで生産設備メーカーとして成長した。

創業は昭和43年。当時は理科実験器具の製造・販売を手がけていた。金属の試作部品加工で実績を積んだ後、現在の各種生産設備の開発・製造を中心とした事業へと転換した。貼る・剥がすの要素技術を実装した生産設備の展開により多くの製造現場で自動化・省力化を実現し、顧客の課題解決に寄与している。

強み
自信
貼る・剥がす技術に

同社の強みは、貼る・剥がすに係る要素技術。関連特許も複数取得しており、位置精度±50μm(3σ)のフィルムの貼り付けに対応するほか、柔軟かつ伸縮性が高いクッションテープを、ロボットにより3次元形状の表面に自動で貼り付ける技術も有する。「精度よく貼りたい」「気泡なく貼りたい」とい

った難しい顧客ニーズに応え、気泡のない精度の高い貼付を可能とした結果、自動車部品の静音性と防水性が向上するなどした。

顧客からの様々なニーズに対応するため、同社工場内に検証用の協働ロボットを設置した。協働ロボットによる簡易テストを通じて、貼る・剥がす工程の自動化を提案している。今後は、多関節ロボットの活用も検討し、これら要素技術を実装した新たな生産設備の提案をめざす。

経験値
コア技術を備える
ベテランが活躍

信頼できるベテランエンジニアが多数在籍するのも同社の魅力の一つ。高い品質が求められる液晶パネル製造や半導体製造の分野で、長年にわたり生産設備の開発・製造を担い、その過程で貼る・剥がすを習得してきた。これらの技術をもとに、多様な顧客ニーズへの対応や、簡易テストを通じての特注品の開発・製造を行う。また、中国などの海外メーカーとのコスト競争に対抗する調達力と納期遵守の生産能力も魅力だが、これも頼もしいベテランエンジニアの存在があってこそ。今後も、貼る・剥がすに精通するベテランが難しい課題に挑み、顧客の信頼に添えていく。

社長あいさつ

代表取締役社長
石山 幸治さん

“アイデアを形にするチカラ”を掲げ、お客様の描いたものを形にできる力こそが私たちの強みです。これまで培った要素技術と厳格な品質管理、お客様に寄り添った営業を軸に、各業種の製造ラインの全自動化を見すえ、“最小の人手で最大の効果を生む設備”を提案していきます。

主な保有設備

- 天井クレーン(2.8t)
三菱電機FA産業機器製 2台
- フォークリフト(6t)
豊田自動織機製 1台
- マイクロスコープ
VHX-7000 キーエンス製 1台

住 所／〒576-0054
交野市幾野
6-38-1T E L／072-893-5501
F A X／072-893-5505

創 業／昭和43年9月

設 立／昭和54年5月

資本金／6,000万円

従業員／48名



クッションテープ貼付ロボット



位置精度±50μm(3σ)で貼り付けるフィルム貼付機

<https://www.ishiyama.co.jp/>